

# 令和5年度守谷市立図書館事業計画

中央図書館

令和5年4月

# 目 次

□ 現状と課題	2
□ 守谷市立図書館運営基本方針	3
□ 運営基本方針の実現に向けた活動計画	4
1 資料、情報提供の充実	5
2 子どもの読書活動の推進	5
3 市民協働によるサービスの充実	7
4 多様なニーズに応えるサービスの提供	7
5 信頼できる図書館運営	10
第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標	11

## □ 現状と課題

令和4年度は、休館や開館時間の短縮を実施することなく、343日通常開館することができました。詳しい実績については、令和5年度もりやの図書館等概要でご報告させていただきます。

『MORIYA 中学生ビブリオバトル!2022』開催事業」「新規ボランティア開拓事業」「ADEAC（デジタルアーカイブ）コンテンツ公開事業」の3事業を、令和4年度中央図書館重点事業として取り組みました。

「MORIYA 中学生ビブリオバトル!2022」の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年間の開催中止を経ての開催となりました。各中学校から選出された7名による熱いバトルが繰り広げられ、好評のうちに終了しました。「新規ボランティア開拓」については、ボランティアを募集している団体とボランティアに興味を持つ方をお引き合わせする「ボランティアマッチング見学会」を初開催し、4名の方を新たなボランティアとしてお迎えすることができました。「ADEAC（デジタルアーカイブ）コンテンツ公開」については、生涯学習課と連携し、『守谷市遺跡情報システム』の開設、また、『守谷市文化財マップ』『守谷の平将門伝説』の公開及び『守谷のふるさとかるた』と『都市計画図』の拡充を図ることができました。さらに、ADEACの利用拡大を促進するため、秋の図書館まつりのイベントとして、図書館2階展示コーナーにおいて、ADEAC体験コーナーを設置するとともに、職員がインストラクターを務める体験会を開催しました。

秋からは、コロナ禍以前に近い形態でイベントを開催しました。イベント等においては、ボランティアや市民団体等との協働に努め、成果を上げることができました。

令和5年度からは、継続的に社会教育施設の大規模改修工事が予定されており、中央図書館も令和7年度から改修工事を開始する予定です。施設・設備の改修・更新等を実施することによりその機能を回復し、建物の長寿命化を図るとともに、令和4年度に実施した「守谷中央図書館大規模改修に伴うアンケート」の結果を踏まえ、利用者ニーズを反映させた快適な利用空間への転換を図りたいと考えています。令和6年度から改修工事の実施設計を開始するために、今年度は様々な調整や必要な事務手続きを遅滞なく進めることに努めます。また、今秋開始予定の郷州公民館改修工事に伴う図書室業務臨時窓口の運営が円滑に進むよう努めます。

## □ 守谷市立図書館運営基本方針

### 目指す姿

地域の情報拠点として、市民が多様な図書や情報を容易に取得し活用できるように、図書館資料の充実と提供に努める図書館を目指します。

未来を担う子どもたちが読書に親しみ豊かな心を育む読書環境の充実と、学校との連携の下、学習活動の支援に努める図書館を目指します。

市民の知的要求に応える学習拠点として、市民との協働の下、生涯にわたる学びを支える機会と場を提供する図書館を目指します。

### 3つの方針

① 市民の求める図書や情報の収集、提供、保存

② 未来を担う子どもたちの読書活動の推進と、学習活動の支援

③ 市民との協働により、市民が集い、学び、活躍できる場の整備

## □ 運営基本方針の実現に向けた活動計画

### 5つの柱

### 具体的な活動

#### 1 資料、情報提供の充実

- ① 資料の収集、提供
- ② 資料の保存及び除籍

#### 2 子どもの読書活動の推進

- ① 子どもの読書活動の推進
- ② ヤングアダルトサービスの充実
- ③ 学校図書館との連携
- ④ 子育て利用者支援サービス

#### 3 市民協働によるサービスの充実

- ① ボランティアとの連携、育成及び支援
- ② 生涯学習機会の提供

#### 4 多様なニーズに応えるサービスの提供

- ① 利用者ニーズの把握
- ② レファレンスサービスの充実
- ③ 図書館ネットワークの活用
- ④ アウトリーチサービス(図書館の利用に障がいのある人へのサービス)
- ⑤ 多文化サービス
- ⑥ ICT技術の活用

#### 5 信頼できる図書館運営

- ① 広報活動
- ② 施設環境の整備
- ③ 職員体制
- ④ 図書館協議会

## 1 資料、情報提供の充実

### ① 資料の収集、提供

- 教養、調査、研究、趣味、娯楽等に対応できる多様な資料を収集し、提供します。
- 電子図書、電子雑誌の購入を継続します。また、児童書の読み放題パック等の購入により、児童・生徒の利用を促進します。
- 郷土資料、行政資料を収集・保存・提供します。
- 郷土資料等のデジタル化（A D E A C）を継続し、サービスの周知及び利用の増加を図る取組を実施します。

### ② 資料の保存及び除籍

- 定期的な資料の除籍を行い、利用者にとって新鮮で魅力のあるコレクションを構築します。
- 除籍資料（リサイクルブック）の再活用を促進します。

## 2 子どもの読書活動の推進

### ① 子どもの読書活動の推進

- 第四次守谷市子ども読書活動推進計画を推進します。
- 子育て支援機関へブックパックの貸出を継続し、子どもの読書支援に取組みます。
- 乳児期から本に親しむための機会を提供するため、ブックスタート事業<sup>\*1</sup>に継続的に取組みます。

---

#### ※1 ブックスタート

ブックスタートは、1992年にイギリスで始まった活動。現在日本では、自治体の行政判断によって実施され、保健センターや図書館などが窓口となり事業を展開している。0歳児検診などの機会に絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントするもので、守谷市では平成15年7月から、3～4か月児健康診査の際に実施している。

## ② ヤングアダルトサービス<sup>※2</sup>の充実

- 読書意欲向上の契機となるようなコンテスト等の開催を継続します。
- ヤングアダルト世代の利用を促進する取組を実施するとともに、高等学校との連携を推進します。

## ③ 学校図書館との連携

- 団体貸出、ブックトーク<sup>※3</sup>の実施により、学習支援を行います。
- 小・中学校へのブックパックの貸出を継続し、子どもの読書支援に取組みます。
- 中学生ビブリオバトル<sup>※4</sup>大会を実施します。
- 学校司書に対して、学校図書館担当職員及び統括学校司書による日常的な業務指導・支援を行います。
- 学校司書の実務能力向上のため、計画的な研修・指導を実施します。
- 学校司書同士が定期的にコミュニケーションを取り、連絡調整や情報交換等ができる機会を設けます。
- 学校図書館部会、司書教諭、学校支司書、図書館との間で交流会や合同研修を実施し、学校図書館の活性化に努めます。

---

### ※2 ヤングアダルトサービス

おおむね12歳から18歳までの青年期利用者に対して主として公共図書館が行うサービス。従来は「青少年サービス」という用語が一般的であったが、児童サービスとの混同や包含を避けるために、この用語を使う例が多い。

### ※3 ブックトーク

一定のテーマに沿って本を紹介する。多くは、図書館、学校等で子どもたちに対して図書館員、教員、学校司書等により行われる。

### ※4 ビブリオバトル

参加者が「自分が読んで面白い」と思った本の魅力を紹介し合う書評ゲーム。発表参加者が一人5分間で1冊の本を紹介し、それを聞いた参加者（聴衆）とディスカッションを2～3分行う。全ての発表が終わった後、どの本が一番読みたくなったかを基準に参加者全員で投票を行い、最多票を集めた本を「チャンプ本」とする。

#### ④ 子育て利用者支援サービス

- 育児コンシェルジュサービス及び読書応援タイム（図書館利用者託児）を委託業務により実施し、子育て中の方の図書館利用を支援します。
- 育児コンシェルジュによる工作教室を開催し、サービスの周知を図るとともに、新たな利用者の開拓に努めます。
- 子育て利用者支援サービスに関わる案内や情報をまとめたお便りを作成し、子育て支援機関へ配布します。
- 委託業務において、子育てに関する講座を開催します。

### 3 市民協働によるサービスの充実

#### ① ボランティアとの連携、育成及び支援

- ボランティア団体との連携を密にし、活動支援を行うとともに、活動成果を市民に還元していただく機会を作ります。
- おはなしボランティア連絡会を年1回開催し、意見交換や活動実績を共有する機会を作ります。
- おはなしボランティアの技能向上のために、講座を開催します。
- 新たなボランティア開拓のため、ボランティア体験会等を開催します。
- ボランティア団体主催行事の開催に努めます。

#### ② 生涯学習機会の提供

- 市民の文化活動・読書活動を支援するため、講演会や講座を開催します。
- 市民団体等の生涯学習活動の発表の場を提供します。

### 4 多様なニーズに応えるサービスの提供

#### ① 利用者ニーズの把握

- 利用者アンケートを年1回実施し、結果を公表します。
- 意見箱への投函及びメール等で出された意見に対し、迅速、丁寧に対応します。

## ② レファレンスサービス<sup>※5</sup>の充実

- 職員のスキルアップのため、研修会（オンラインを含む）等へ積極的に参加します。
- 商用オンラインデータベース<sup>※6</sup>の選択、管理、更新を実施します。
- レファレンス協同データベース<sup>※7</sup>へ積極的に参画します。

## ③ 図書館ネットワークの活用

- リクエストされた資料において、購入できないと判断した資料については、相互貸借システムを有効活用し、利用者への提供に努めます。
- レファレンス、複写サービス等について、自館で対応できないものについては、他館への照会及び紹介を行います。

## ④ アウトリーチサービス(図書館の利用に障がいのある人へのサービス)

- 点字資料（雑誌）、大活字本、視聴覚資料（朗読資料、字幕付きDVD等）を収集し、提供します。
- ボランティア団体と協力し、障がいを持つ子どもに対するおはなし会を実施します。

---

### ※5 レファレンス

参考、参照、照会、問い合わせなどの意味。図書館では、図書館サービスの1つであるレファレンスサービスを指すことが多い。レファレンスサービスとは、図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務。

### ※6 オンラインデータベース

ネットワークを経由し遠隔地から利用できるデータベースの総称。多くの場合、オンラインデータベースの利用者は、データベースの提供業者と利用契約を結び、ID やパスワードの発行を受けることで、自分のパソコン等から、データベース上に蓄積された情報を検索・閲覧できる。データベースの内容は学術的、専門的な情報であることが多い。

### ※7 レファレンス協同データベース

国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築する調べ物のための検索サービス。

- サピエ<sup>※8</sup>に加入し、視覚に障害のある方へ、デージーデータ等を提供します。
- 広報紙、議会だより、社協だよりの DAISY（デージー）<sup>※9</sup>化を迅速に行い、視覚障がい者の方へ宅配サービスにより貸出します。
- 宅配サービスの周知を継続的に実施します。
- 学校図書館や放課後子ども総合プラン、子育て支援施設に対し、リーディングトラッカー<sup>※10</sup>配置の啓発活動を実施します。

## ⑤ 多文化サービス

- 外国語の新聞、雑誌、図書等を収集し、提供します。
- 多文化理解に役立つ資料を収集し、提供します。
- 電子図書による外国語音声付資料を収集し、提供します。
- 多言語のおはなし会を実施し、子どもが多言語や多文化に触れることができる機会を提供します。

## ⑥ ICT 技術の活用

- 中央図書館と市内 4 公民館図書室を専用線で結び、情報を一元化することで利用者の利便性に寄与します。
- 郷州公民館の改修工事に伴う図書室業務臨時窓口の運営が円滑に

### ※8 サピエ

視覚障害者及び視覚による表現の認識が困難な方々に対して点字、デージーデータをはじめ、暮らしに密着した地域・生活情報などさまざまな情報を提供するネットワーク。「サピエ」は、日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている。

### ※9 DAISY（デージー）

デジタル録音図書の世界標準。視覚障害等により、普通の印刷物を読むことが困難な方々のために、カセットテープに代わるものとして開発されたもの。ほぼ全ての本がCD1枚に納まり、さらにページや目次で読みたいところを開くように利用できる。

### ※10 リーディングトラッカー

読書するときに、どこを読んでいるのかがひと目でわかり、読みやすくするための定規のようなもので、読書補助具の一つ。ディスレクシア（文字の読み書きに限定した困難さをもつ疾患）のある人や視覚障害（視野狭窄や黄斑変性等）のある人の読書をサポートするツールであるとともに、集中して読書したい人等にも便利な誰もが使えるユニバーサルデザインのツール。

進むよう、図書館システム及び通信環境の整備を実施します。

- インターネット上の蔵書検索システム（WEB-OPAC）の機能向上を図るとともに、読書マラソン大会など読書意欲向上のための取り組みを継続します。
- 利用者の円滑な調査・学習の一助として、公衆無線 LAN（Wi-Fi）環境を維持管理します。
- 図書館システムを活用し、利用者、書誌データの管理を適切に行います。
- 職員へのセキュリティ情報の提供や注意喚起を継続的に実施します。

## 5 信頼できる図書館運営

### ① 広報活動

- 図書館の利用促進を図るため、図書館HP、広報もりや等による広報、市のフェイスブックやツイッターなどのソーシャルメディアサービス及び市民生活総合アプリ「Morinfo（もりんふお）」を活用し、積極的に市民に対して情報発信を行います。
- 報道機関からの取材に積極的に対応し、図書館のPRに努めます。
- ホームページを随時更新し、利用者へ迅速に情報を提供します。
- デジタルサイネージを使用した効果的な広報の推進を図ります。

### ② 施設環境の整備

- 施設管理委託業者と連携し、施設設備の点検を実施します。
- 建物定期調査等の法令に基づく点検を実施します。
- 修繕計画に基づく修繕を実施します。
- 令和7年度から大規模改修工事を開始するに当たり、令和6年度から実施設計を開始するための事務手続きを行います。また、施設・設備の現状と、利用者アンケート結果をもとにまとめた「守谷中央図書館改修構想」を実施設計に反映させます。

### ③ 職員体制

- 職員間の業務指導、情報の共有化を徹底します。
- 職員の専門性向上のため、各種研修会へ計画的に参加します。

### ④ 図書館協議会

- 図書館協議会を開催し、市民等の意見を聴き、図書館サービスの向上に努めます。

## 第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組	指標	R1	R2	目標値	所管	
乳幼児の読書活動の推進	(1) 乳幼児の読書活動推進のための取組					
	ブックスタート事業の実施	ブックスタート事業の参加率	99%	77%	100%	図書館
	保育所等・子育て支援施設への読書活動の支援	団体貸出利用施設率	11%	23%	50%	保育所等 のびのび子育て課 図書館
		貸出冊数	235冊	533冊	1,000冊	
		リサイクルブックフェア参加施設数	3施設	2施設	10施設	
	育児コンシェルジュによる子どもや保護者への支援	読み聞かせなどの件数	1,295件	1,286件	1,500件	図書館
	絵本や物語に親しむ活動の実施	読み聞かせ実施施設の割合	100%	86%	100%	すくすく保育課 のびのび子育て課 保育所等
		おはなし会の開催施設数	13施設	5施設	20施設	
	ボランティア活動促進への支援	おはなし会実施回数	146回	42回	150回	図書館
		資料・備品の貸出数	1,460点	376点	1,500点	
		講座の開催回数	3回	0回	3回	
	(2) 家庭における読書を支援する取組					
	読み聞かせ等の大切さや意義を伝える活動の実施	実施施設数	—	新設	39施設	すくすく保育課 保育所等 図書館
絵本の貸出施設数		—	新設	15施設		

## 第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組	指標	R1	R2	目標値	所管	
(1) 読書のための設備の充実						
学校図書館資料の充実	学校図書館図書標準の達成校	10校	8校	13校	小中学校 学校教育課 図書館	
(2) 読書のための環境の充実（児童生徒へのアプローチ）						
小中学生の読書活動の推進	学校図書館の計画的な活用	実施校数	—	新設	13校	小中学校
	学校図書館の貸出資料の拡充	年間貸出数	—	新設	200,000冊	
	読書時間の確保	実施校数	12校	11校	13校	小中学校 教育指導課
	読書目標を達成した児童生徒の表彰	実施校数	13校	13校	13校	小中学校
	放課後子ども総合プランへの図書提供	放課後子ども総合プランへの団体貸出冊数	—	新設	3,000冊	生涯学習課 図書館
	ブックトークの実施	実施クラス数	—	新設	50クラス	小中学校 図書館
	イベントや企画の充実	実施回数	—	新設	65回	
	友だち等からの図書紹介活動の実施	実施校数	—	新設	13校	

## 第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組	指標	R1	R2	目標値	所管	
小 中 学 生 の 読 書 活 動 の 推 進	(3) 児童生徒の読書への関心を高めるための人づくり					
	学校司書研修の実施とコミュニケーション機会の提供	実施回数	—	新設	年5回	図書館
	学校図書館を活用するための研修	実施回数	年1回	年1回	年1回	小中学校 教育指導課
	学校図書館担当者間の連携の強化	実施回数	—	新設	年1回以上	小中学校 教育指導課 図書館
	情報モラル・著作権の研修	実施回数	—	新設	年1回以上	小中学校 教育指導課
	図書館との連携による学校図書館充実のための研修	実施回数	—	新設	年1回	小中学校 教育指導課 図書館
	(4) 本に親しむためのネットワークの充実					
	学校への団体貸出	団体貸出冊数	4,947冊	4,388冊	5,000冊	小中学校 図書館
	学校間相互利用の推進	学校間の借受・貸出冊数	189冊	26冊	150冊	小中学校 図書館
	ADEACの活用	実施校数	—	新設	13校	小中学校 教育指導課 図書館

## 第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組	指標	R1	R2	目標値	所管	
<b>全ての子どもに対する 読書活動の推進</b>	(1) 全ての子どもに対する読書活動推進の取組					
	全ての子どもへの資料提供の 推進	学校での子どもの特성에合わせた資料提供冊数	—	新設	130冊	小中学校 図書館
		障がい児通所支援事業所への 団体貸出冊数	214冊	410冊	500冊	図書館
	電子書籍の充実	児童書所蔵数	—	新設	300冊	
	読書補助具の配置	リーディングトラッカー配置 施設数	—	新設	20施設	小中学校 生涯学習課 のびのび子育て課 図書館
<b>家庭における 読書活動の推進</b>	(1) 家庭での読書活動及び図書館利用の促進					
	家庭教育講座等での読書活動の 促進や図書館利用の周知	家庭教育講座の実施回数	1回	1回	1回	生涯学習課 図書館
	読書への関心を高める事業の 実施	実施回数	25回	14回	30回	図書館